

基礎医学委員会 形態・細胞生物医科学分科会（第26期・第2回）議事録

日時：令和7年8月23日（土）12:30－13:10

場所：東京大学医科学研究所会議室及びオンラインによるハイブリッド会議

現地出席：渡辺、門松、澤本、武川、仲嶋、西、寺田

オンライン出席：後藤、河田、高橋、内匠、望月、大和田、近藤

（欠席者：岡部、萩原、米田）

議題

（1） 前回議事録要旨の承認

令和6年10月24日開催の形態・細胞生物医科学分科会（第26期・第1回）の議事録（資料1）の確認を行い、承認された

（2） 第14回形態科学シンポジウムの準備状況について

基礎生物学委員会細胞生物学分科会と合同で、これまで東京大学（2007年、2014年）、京都大学（2008年、2013年）、九州大学（2009年、2015年）、北海道大学（2010年、2019年）、大阪大学（2011年、2016年）、慶應義塾大学（2021年）、名古屋市立大学（2023年）において形態科学シンポジウムを開催してきた。

資料2（第14回形態科学シンポジウムポスター）に基づき、本日、東京大学医科学研究所講堂において開催される「第14回形態科学シンポジウム：生命科学の魅力を語る高校生のための集い—分子の視点で解き明かす病気のメカニズム—」の企画内容について確認を行った。世話人の武川委員から、シンポジウムの参加状況について210名（対面参加50名、オンライン参加者160名）からの事前登録があったこと、が報告された。

（3） 今後の形態科学シンポジウムの開催について

2年後を目途に、第15回形態科学シンポジウムを開催する方向で準備を進めることが了承された。分科会終了後に行われた基礎生物学委員会細胞生物学分科会との合同分科会において、両分科会でこの開催方針を確認した。

（4） その他

特になし。

報告事項

（1） 日本学術会議の法人化に関する対応状況と今後の進め方について

資料3（2025年7月4日の会員説明会配布資料）に基づき、法人化法案の国会審議と対応状況について報告と説明が行われた。